

議第12号議案

原発汚染水（ALPS処理水）の海洋放出の即時中止を求める意見書

上記議案を別紙のとおり提出いたします。

令和5年9月21日提出

提出者	新座市議会議員	小野	大輔
賛成者	//	笠原	進
	//	高邑	朋矢
	//	石島	陽子
	//	嶋田	好枝
	//	黒田	実樹
	//	小野	由美子

提案理由

原発汚染水（ALPS処理水）の海洋放出を即時に中止させるため、この案を提出する。

## 原発汚染水（ALPS処理水）の海洋放出の即時中止を求める意見書

東京電力福島第一原発事故で発生した汚染水（ALPS処理水）の海洋放出が開始されました。原発汚染水の海洋放出は止めるべきです。

凍土壁は十分に機能を果たさず、原発汚染水は増え続けています。トリチウム、セシウム、ストロンチウムを海洋に放出する方針は、福島復興を妨げるものです。政府は、凍土壁ではなく、汚染水を増やさない「広域遮水壁」の設置、海洋放出ではなく、「大型タンク貯留案」や「モルタル固化処分案」で海を汚さない対策を進めるべきです。これら提案は専門の科学者が提案したものです。

汚染水の海洋放出の安全性は確認されておらず、放出回避の手だてについて真剣な検討もせず、「廃炉」完了までの30年以上にわたって放出を続けることは断じて容認できません。

政府は、「関係者の理解なくいかなる処分もしない」との約束を一方向的に破棄するものであり、民主主義の根幹を揺るがすものとしても断じて容認できません。

よって、福島第一原発事故で発生した原発汚染水（ALPS処理水）の海洋放出の即時中止を強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

令和5年9月 日

埼玉県新座市議会

内閣総理大臣 様